

2019年8月8日

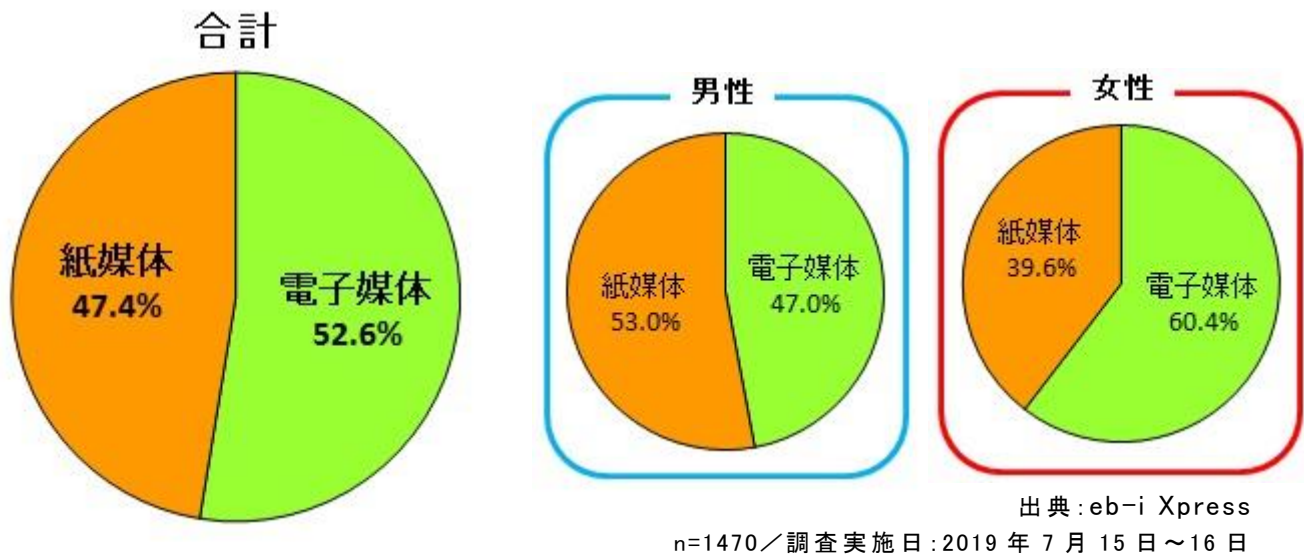
～エンタメ消費者動向の定期サービス『eb-i Xpress』発表～ コミック購読における利用媒体調査

- ・全体では、「電子媒体」利用派が過半数。
- ・男性は「紙媒体」、女性は「電子媒体」を利用する傾向に。

株式会社Gzブレイン(本社:東京都中央区、代表取締役社長:豊島秀介)は、映画・テレビ・ゲーム・コミック・音楽などエンターテインメントの最新消費者動向を独自のユーザー調査から読み解く、企業向け定期サービス『eb-i Xpress』(イー・ビー・アイ・エクスプレス)を配信しています。今回『eb-i Xpress』では、全国47都道府県に在住する5～69歳男女を対象に、コミック購読における利用媒体の実態調査を行いました。

【コミック購読媒体比率】

※漫画雑誌やコミックスを読む際に、最もよく利用すると回答した媒体を集計。



- 女性のコミック購読者は、主に「電子媒体」利用派が約6割。
- 男性は「紙媒体」での購読派が半数以上。男女で利用媒体の嗜好に違い。

今回、コミック購読の実態について調査をしたところ、最も利用している媒体は、スマートフォンやタブレット、PC、電子書籍リーダー、家庭用ゲーム機といった「電子媒体」が、52.6%と半数を超える結果になりました。性別でみると、男性が「紙媒体」(53.0%) / 「電子媒体」(47.0%)、女性が「紙媒体」(39.6%) / 「電子媒体」(60.4%)となり、女性の方が、より「電子媒体」を利用している傾向がみられました。

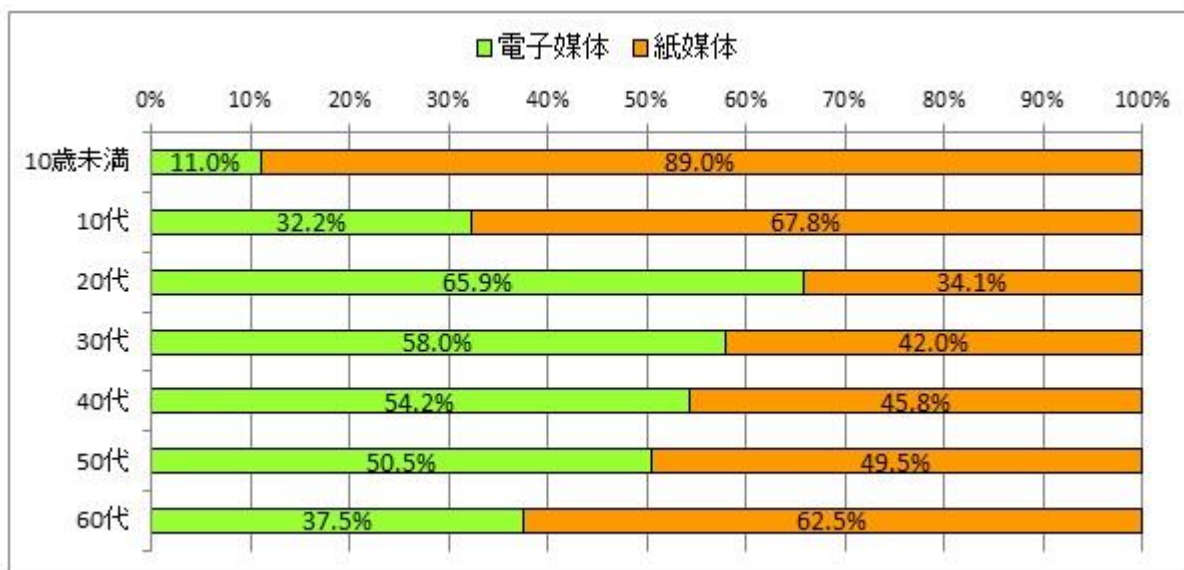
特に、「電子媒体」派の20代～30代女性では、スマートフォン利用の割合が大きく、時と場所を選ばず手軽に利用できるスマートフォンでコミックを読む習慣が定着していることが伺えます。

※電子媒体・・・スマートフォン、タブレット、PC、電子書籍リーダー、家庭用ゲーム機

一方、男性は、主に「紙媒体」を利用していると回答した人が過半数となっており、男女で利用媒体の好みに違いがあることが明らかになりました。

年代別では、20代～50代で「紙媒体」より「電子媒体」利用者の比率が上回りました。なかでも20代においては、およそ7割がコミックを読む際に「電子媒体」を利用していることがわかりました。スマートフォン未所有者が多いと推測される10代未満～10代は、「紙媒体」でのコミック購読者が約7～9割と大半を占めています。

【年代別 コミック購読媒体比率】



出典: eb-i Xpress
n=1470 / 調査実施日: 2019年7月15日～16日

◇『eb-i Xpress』調査概要

国内20万人パネルから、全国47都道府県の5～69歳(※)の男女約1万人のモニターを対象に、エンターテインメント分野に関してWeb調査を行う、大規模ユーザーリサーチシステム「eb-i」を元に運用。映画・テレビ・ゲーム・コミック・音楽など各エンターテインメントジャンルについて、「eb-i」から抽出したデータをもとに、一定のセグメント・ユーザー嗜好を組み合わせたクロス集計を実施。(※)14歳以下は保護者の代理回答となります。

◇『eb-i Xpress』サービスについて

『eb-i Xpress』は、月次レポートと専用サイトのアクセス権を基本パッケージとしたサービスになります。月次レポートはエンターテインメント各ジャンルの接触ランキング、各種分析、時流に応じたテーマをデータで切り取る特集記事などから構成されます。専用サイトでは、随時更新される集計データと過去のアーカイブを閲覧することができます。

URL: <http://www.f-ism.net/>

